

主に車の部品を販売する会社に勤めています。きつかけは、知り合いの父がその会社について退職をする時に採用試験の案内を受けたことです。初めは分からないことも多く、お客さんに教えてもらうこともありました。今は拠点長として4年目で、やりがいと同時に責任も感じ



小さなことから
コツコツと！

は せ まさき
長谷 昌樹 さん
(植田)

にこにこライフ

199



吹奏楽は土佐山田の一般楽団とオーケストラで活動しています。定期演奏会とコンクールが近づいており、最近では週2、3日くらい自宅の防音室で練習をしています。打楽器の中で主にティンパニを扱うことが多いです。2人子どもがおり、その関係で5、6年前から近くの小学校と保育園で、演奏会を行っています。3人で演奏をしており、ドラムだと音が大きすぎるのでカボンを使っています。色々なことに興味があり、趣味は多いです。旅行も好きで、旅行先での食歩き、散歩も好きです。体を動かすことも好きで、週に2、3回30分程度のウォーキング、また週に1度子どもと一緒にバスケットボールもやっています。寝る前のストレッチと、2、3日に1回の体幹トレーニングを欠かさないようにしています。今後はまずオーケストラをしっかり練習、準備をしていきたいです。大きな目標よりは小さな目標をコツコツとやっていきたいです。また、子ども達をしつかりとした社会人へと育てていきたいです。常に挑戦を心がけ、できないことをできるようにしたいです。そこに喜びがあるのではと思っています。

書ききれないほど、さまざまなお話を聞かせて頂きました。1日1日が充実していることが伝わってきました！

親子クイズ 543

Q 南国市は県内一の平野を持ち、気候も暖かいことから様々な野菜が作られています。
全国的にもよく購入されている南国市産「にら」「オクラ」「ししとう」の1年間の販売高を1位から順番に並び替えてみましょう。

1位

2位

3位

【第542回解答】

なんこくし
(南国市)

【第542回当選者】

須江 愉衣 (大埴乙)
白川 典香 (下野田)
黒川 悦子 (緑ヶ丘)
上間 恵美子 (東崎)
浜田 幸子 (物部)

★応募総数／43通

★正解率／93%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切／8月10日(木)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大埴甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
＊はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

なんこく歴史散歩

第55回

宮地彦三郎は天保10(1839)年に高知新町田淵(高知市桜井町)に生まれます。文久3(1863)年2月、藩の監察役をしているときに、脱藩の罪を許されて7日間の謹慎を命ぜられた坂本龍馬を大阪から京都へ護送する任務につきました。しかし同年10月には藩邸をぬけ脱藩します。慶応3(1867)年に海援隊に入り、八木彦三郎と名を変えて長岡謙吉の配下の隊士として活躍します。龍馬が暗殺された11月15日の昼頃に彦三郎は近江屋に龍馬を訪ね、部屋にあがるようにすすめられたが辞退しました。その夜、ソバ屋にいる時に龍馬らの遭難を知って現場に駆けつけた一人とも言われています。

幕末維新の南国 一宮地彦三郎一



宮地彦三郎の墓(立田)



問い合わせ
生涯学習課文化財係
880・6569

ふれあいつながって 77 人権学習シリーズ

笑顔のささえ

ことや腹の立ったことは、もう語りかけたい、聞いてほしい、とは思わなくなっている。母の笑顔を見ていると、もう、どうでもよかったことのように思える。私は、そんな自分に思わず笑ってしまっ

以前もたくさんさんの出来事を笑顔で聞いてもらった。聞いてもらっているうちに、しんどい気持ちも腹の立つ気持ちも消えていった。今も、その笑顔を思うと負の感情が落ち着いていく。結局ずっと、助けられている。

月に一度、私は仏壇に花を供える。仏壇の母に語り、心を癒し、また次のひと月をがんばっていく。



＊このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

問い合わせ
人権啓発広報委員会
880・6569